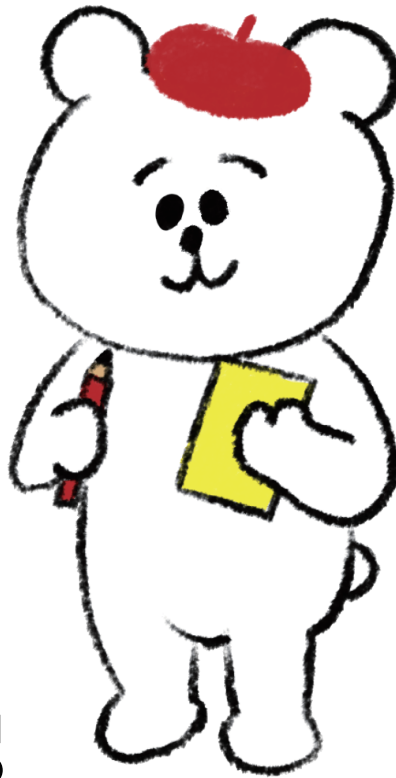


同人誌印刷くまさんスタジオ

原稿作成マニュアル



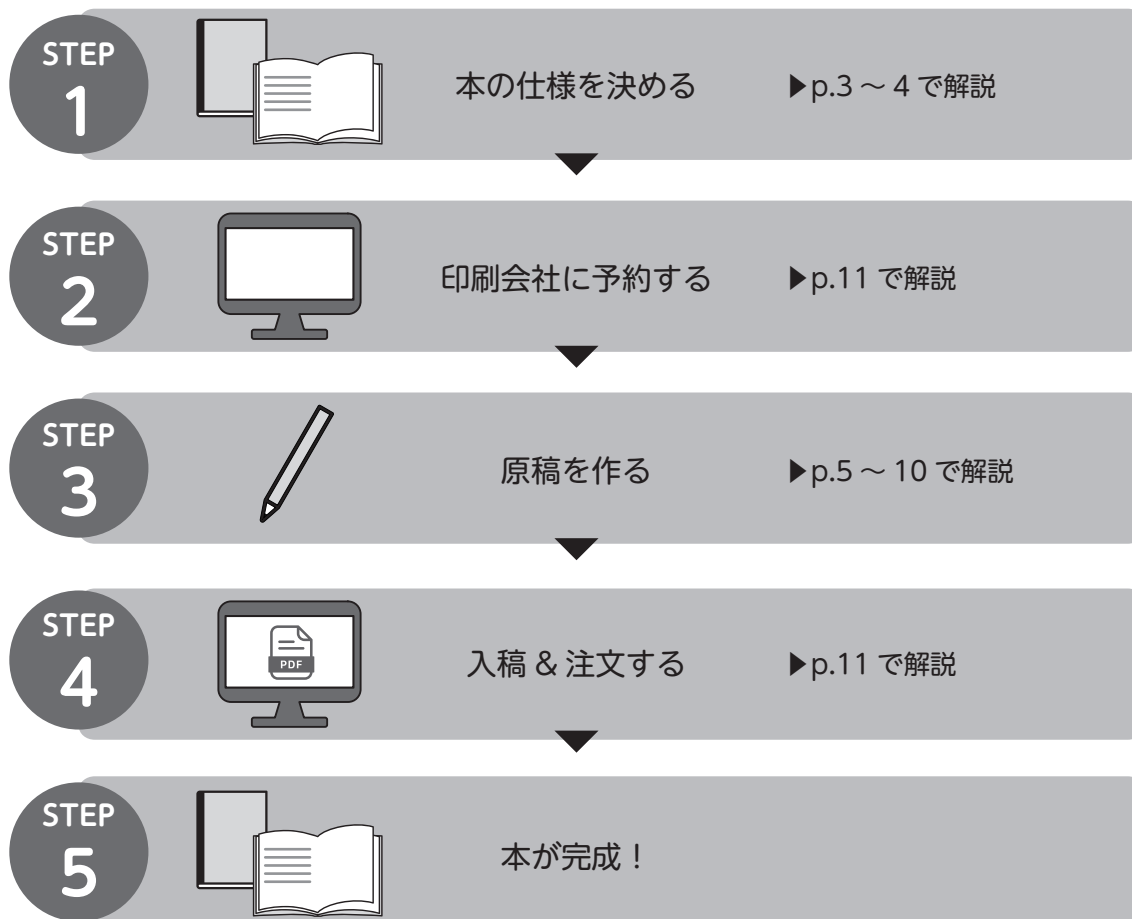
KUMASAN
STUDIO

contents

01 本づくりの流れ	p.2	06 解像度	p.9
02 本を作るときに決めること	p.3	07 カラーモード	p.9
03 本の部位と名称	p.4	08 対応環境	p.10
04 印刷範囲と原稿サイズ	p.5	09 原稿チェックリスト	p.11
05 ノンブル (ページ番号)の付け方	p.8	10 原稿メ切と納品について	p.11
		11 ご入稿前の注意点	p.12

01

本づくりの流れ



入稿手順はWebサイトをご覧ください

本のサイズ

原稿は仕上がりと同じ「原寸サイズ」で作る必要があるため、最初に本のサイズを決定しましょう。

A4 サイズ→コピー紙やノート、クリアファイルのサイズ

B5 サイズ→雑誌や手帳、冊子に多いサイズ

A4

210×297mm

B5

182×257mm

印刷

表紙・本文の印刷色を決めましょう。

フルカラー／スミ刷り（モノクロ）があり、それぞれ原稿の作り方に違いがあります。

紙

表紙・本文の紙を決めましょう。サイトに掲載されている用紙の中からお選びください。

とじの向き

表紙を正面から見た際に「とじ」が左右どちら側にくるかを指します。



■ 左とじ

説明書や数学の本など横書きの本は左とじが一般的です。

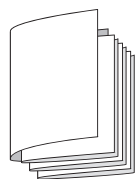


■ 右とじ

小説・マンガなど縦書きの本は右とじが一般的です。

製本方法

用途や見栄えに合わせて本のとじ方を決めましょう。



■ 無線とじ

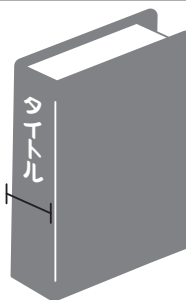
背の部分を糊で固めてとじた本。ページ数は2ページごとに指定できます。同人誌の定番の製本方法です。

弊社のサービスは本文4～50ページ対応で金額はページ数に関わらず均一です。

ページ数と背幅

背幅とは、本の背表紙の幅や厚さのことを指します。

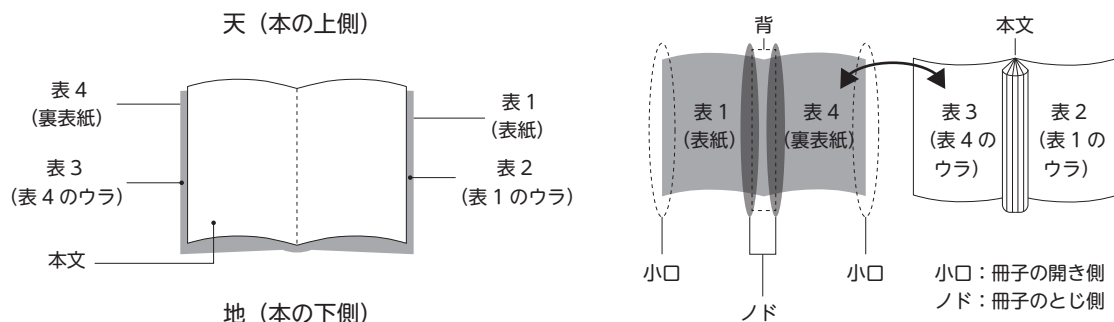
背幅



03

本の部位と名称

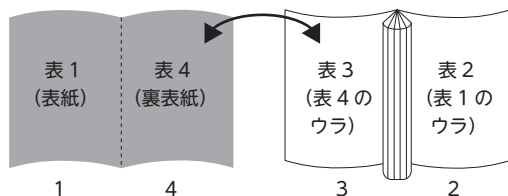
本を作る上で知っておくと便利な各部位の名称です。



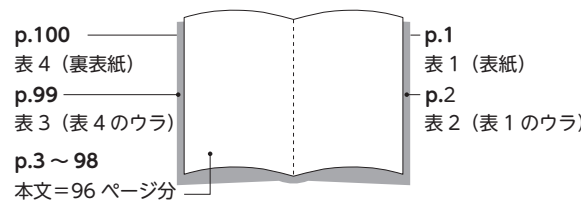
ページ数の数え方

表紙 4 ページ+本文ページ数=表紙込みページ数

■ 表紙は「4 ページ」と数えます (図は右とじの冊子です)



■ 例：表紙込 100 ページ (本文 96 ページ) の数え方



- ・表紙は 4 ページ分と数えます。本文が96ページの本の場合、表紙込100ページという事になります。
- ・紙は表裏一体のため、冊子は必ず偶数ページとなります。

ノンブル (ページ番号)

ノンブルとは、ページ番号を指します。ページ順の乱れ (乱丁・落丁) を防ぐため、本文や口絵には全ページノンブルが必要です。



おくづけ 奥付

冊子の情報を掲載するページ。主に最終ページを奥付とします。発行責任を明確に示すため奥付は必ず下記の情報を記載します。

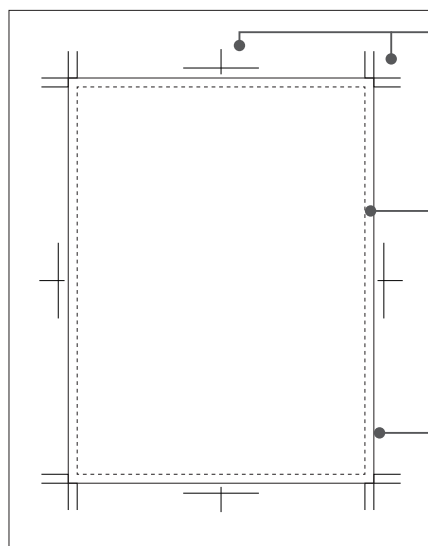
【書名／発行日／サークル名やペンネーム／連絡先／印刷所】

タイトル

20XX 年 X 月 X 日発行
印刷太郎
電話：0X0-0000-0000
印刷：NPC 日本印刷株式会社

原稿を作る際は「データ原稿（デジタル）」「アナログ原稿（手描き）」の2つの方法があります。
まずはどちらにも共通する「印刷範囲」と「原稿サイズ」の基本を解説していきます。

原稿用紙の名称と印刷範囲



トンボ

印刷・製本時に位置の目安となるマーク。
印刷時の位置合わせに必要な天地左右のセンター
トンボ、仕上がり位置を決める四方の角のコー
ナートンボがあります。

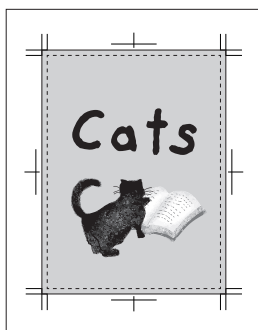
仕上がり（断ち切り）位置

コーナートンボの内側の線が仕上がりのサイズに
なります。

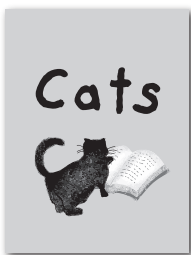
塗り足し

仕上がりの天地左右 3mm 外側。
仕上がり位置にかかる色や柄はトンボの外側（塗
り足し）まで描いてください。

■ 原稿



■ 仕上がり



トンボの内側のサイズで仕上がります

原稿は、作りたい本の「原寸サイズ」で作成してください

※完成原稿を拡大・縮小すると、画質の劣化やモアレなどの問題が発生する可能性があります。

仕上がりサイズの端まで絵柄がある場合、天地左右に 3 mmの塗り足しが必要です

- ・ **データ原稿の場合は塗り足しを含めたサイズ**でご作成ください。
- ・ 紙原稿（アナログ）の場合は仕上がりサイズより一回り大きな紙にトンボまで描いてください。（市販の漫画用原稿用紙をお勧めします）

※小説本の本文で全ページの仕上がり位置に文字や色柄がかからない場合は、塗り足しは必要ありません。

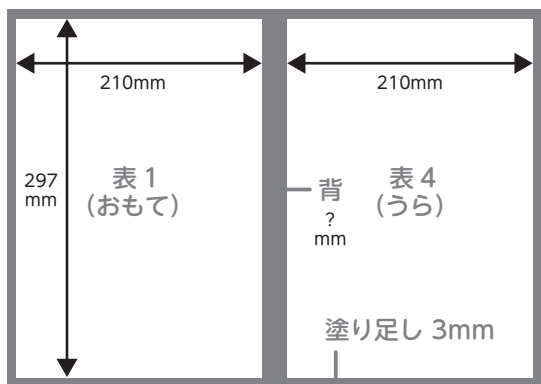
表紙原稿のサイズ

表紙・裏表紙・背表紙を一つの原稿として作成してください
必ず、天地左右にそれぞれ 3 mm の塗り足しを加えた大きさで作成してください。
背幅はページ数・用紙により異なります。お問合せください。
セット商品は「背幅計算ツール」からご確認いただけます。

■表紙サイズの計算方法

【タテ】縦の長さ＋天地の塗り足し各 3 mm 【ヨコ】横の長さ×2＋背幅＋左右の塗り足し各 3 mm

A4



<A4>

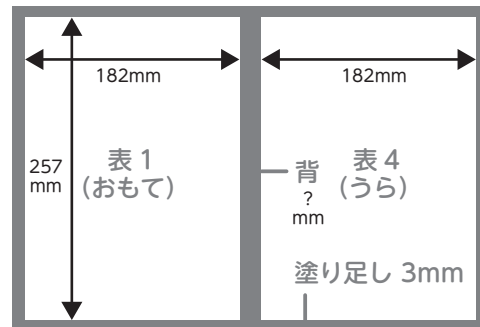
タテ：303mm

(縦 297mm＋天地の塗り足し各 3mm)

ヨコ：426mm＋背幅

(表 1 横 210mm＋背幅＋表 4 横 210mm＋左右の塗り足し各 3mm)

B5



<B5>

タテ：263mm

(縦 257mm＋天地の塗り足し各 3mm)

ヨコ：370mm＋背幅

(表 1 横 182mm＋背幅＋表 4 横 182mm＋左右の塗り足し各 3mm)

※上図は右とじ冊子の場合です。左とじは表 1 と表 4 が逆になります

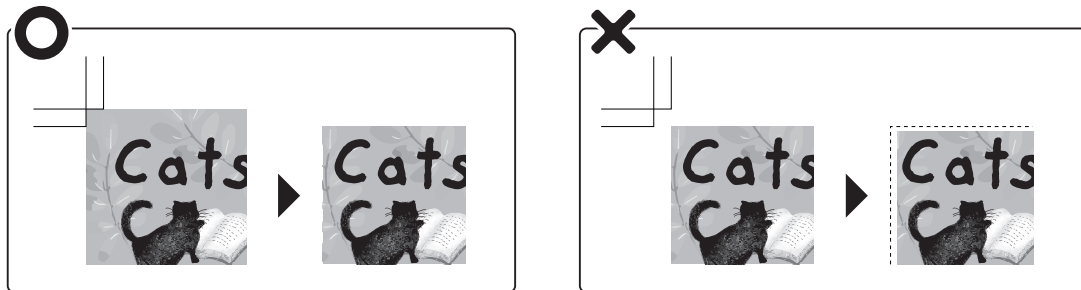
本文原稿のサイズ

出来上がりの規格サイズに塗り足し（天地左右各 3 mm）を足した大きさで作成してください

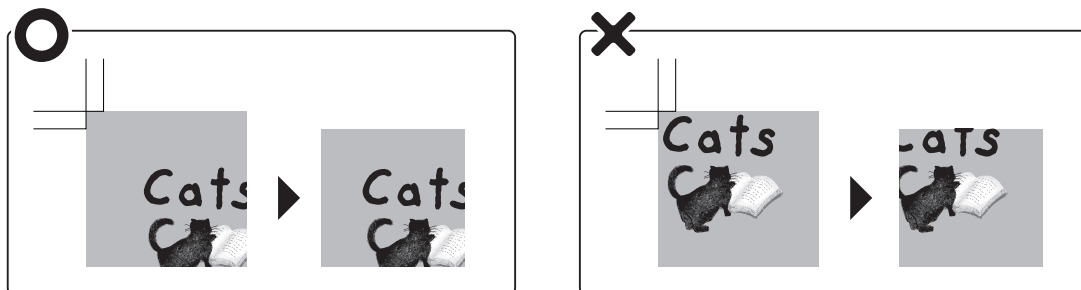
紙サイズ	仕上がりサイズ	原稿作成サイズ(塗り足し込)
A 4	210mm×297mm	216mm×303mm
B 5	182mm×257mm	188mm×263mm

原稿作成における注意

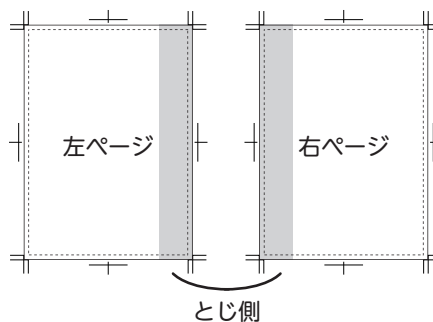
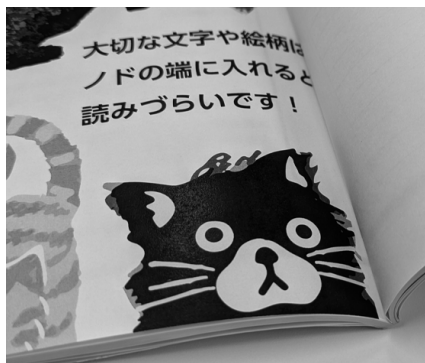
1. 断ち切りにかかる絵柄は、塗り足しいっぱいまで絵を描いてください
塗り足しがないと、本が仕上がったときに白いフチが出る場合があります。



2. 断ち切り線近くには大事な文字・絵柄を配置しないでください
製本時に若干のズレが生じる為、断ち切り線から 2 mm 付近には、大事な文字・絵柄を配置しないようにしましょう。
5 mm 以上内側に入れると余裕が出ます。



3. ノド側（本の綴じる側）は見えにくくなります
本の綴じる側は、文字や絵柄が見えにくくなります。
綴じ側 10mm 以内に大事な文字や絵柄を配置しないことをおすすめします。



とじの位置は
ページの左右で
変わるため注意！

05

ノンブル（ページ番号）の付け方

本文の「ノンブル（ページ番号）」は本を印刷・製本する上で、製造業者が正しいページ順を知るためになくてはならないものです。



- ・本文が順番通り正しく製本されるために本文のノンブルは、全ページ必須です
- ・「仕上がり線より内側にタテ幅 2 mm以上・色は黒」でご作成ください

※ノンブルの不備による乱丁・落丁（本のページ順が正しくない仕上がりになること）のクレームにはご対応できません。

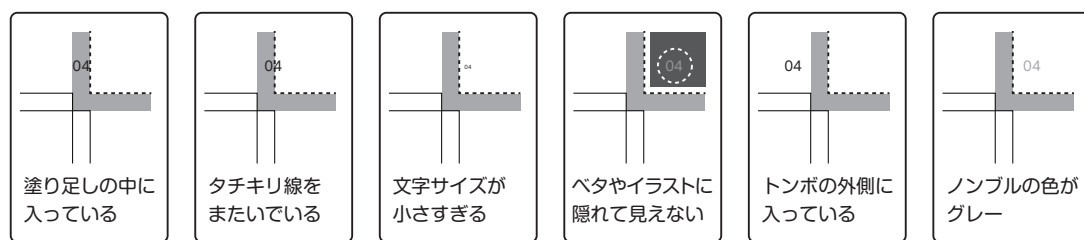
○ 正しいノンブル例

03 03 03

白い背景にノンブルを置く際は「文字を黒（K100%）」に、黒いベタの背景にノンブルを置く時は「文字の色を白にするか、文字を白枠で囲む」ようお願いします。

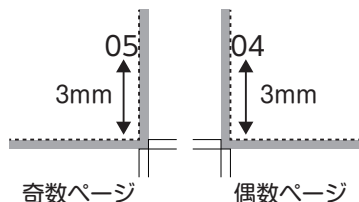
デザインの関係上ノンブルを見せたくない場合は、「隠しノンブル」をつけます

× 避けていただきたいノンブル例

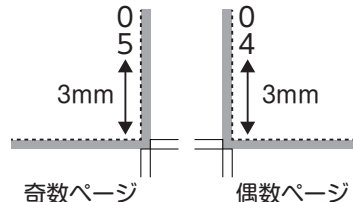


本のとじ側（ノド側）の仕上がり位置ギリギリにノンブルを入れると、製造時にはノンブルが見えても、本になった際にはとじ側にノンブルが隠れてほぼ見えなくなります。

<例 1>



<例 2>



06

解像度

解像度とは…

デジタル画像の密度（細かさ）を表します。数字が高いほど密度が高く、画質が良い状態です。画像の解像度によって、印刷の仕上がりが大きく異なります。

推奨解像度

フルカラー：350dpi (ppi)

グレースケール：600dpi (ppi)

モノクロ 2 階調：600 or 1200dpi (ppi)

解像度は最低でもカラー・グレースケール：300dpi、モノクロ 2 階調：600dpi以上でご作成ください。

また、推奨解像度以上の高解像度で作成されても、仕上がりにほとんど差が出ません。

データ容量が重くなるためお控えください。

原寸サイズの時に上記の解像度となるよう、原稿サイズと解像度を合わせて確認してください。

07

カラーモード

フルカラー原稿の場合

カラーモード：必ず「CMYK」でご作成ください



「CMYK」は、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）の頭文字で、印刷物の色を表現する際に使われます。

CMYKモードで原稿を作成すると、画面上と実際の印刷物の色差が少なくなります。

モノクロ原稿の場合

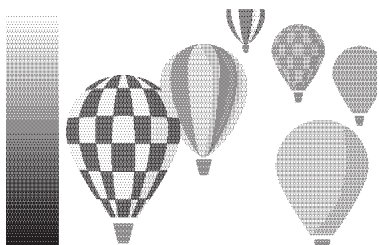
カラーモード：「グレースケール」または「モノクロ 2 階調」でご作成ください



グレースケール

「グレースケール」は、白～黒の明暗で画像を再現する方法です。0 %が白を、100 %が黒を表します。

その中間はグレー塗りとなります。5 %以下のごく薄いグレーや、90 %以上の濃いグレーは印刷時に正しく再現できません。



モノクロ 2 階調

「モノクロ 2 階調」は白と黒の 2 色のみで画像を再現する方法です。

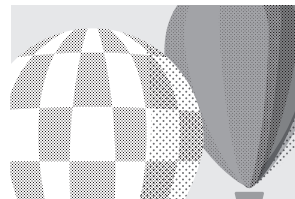
グレー塗りはできません。網点や砂目の密度で階調を表します。網点は線数80Lまで、10～60%の範囲内での使用がおすすめです。

モアレの注意

「モアレ」とは、規則正しく整列した網点同士が互いに干渉して発生するパターン模様の事です。

漫画原稿の「トーン」表現において、原稿作成中に注意が必要です。

下記の点に注意することで、モアレの発生を防げます。



モアレが発生している絵柄

モアレが発生する主な原因



1. トーンの重ね貼り
2. トーンの周囲にアンチエイリアス（ぼかし）がかかっている
3. トーンがスミ 100% ではなくグレーでできている
4. グレー塗りとトーンが重なっている
5. トーンが正円ではなく変形している

08

対応環境

原稿作成方法は「データ原稿（デジタル）」のみ承っております。

入稿は、「データ入稿（PDFデータ）」をお願いします。

データ対応環境・対応アプリケーション

Adobe Acrobat PDFのみ



スムーズな受注・製造のために、ご入稿前に必ずご確認をお願いいたします

【1】ご入稿前の確認

- ☐ 原稿データを表紙・本文それぞれ1つのファイルにまとめた

【2】原稿の作成方法（レイアウト）

- ☐ ノンブルは6pt以上の大きさに全て断ち切り線の内側に入っている
- ☐ ページの抜け、ダブリがないことを確認した
- ☐ 吹き出しのセリフ抜けがないことを確認した
- ☐ 断ち切りの塗り足しを3mm作成した
 - ※3mm以上の場合は、文字切れなどが発生しない限り、中央で必要なサイズを切り出し印刷いたします
 - ※3mm以下の場合は、周囲に余白が出る可能性をご了承ください
- ☐ 切れたり欠けたりしてほしくないセリフなどの文字は、断ち切りから2mm以上内側に入れた

【3】原稿の作成方法（濃度・モアレ）

- ☐ 黒くしたい部分の黒ベタ・文字は「K（黒）100%」で作られている
 - ※原稿のまま進めますが、85%以上のグレーの場合、意図したような濃度差が再現されず、全て黒ベタにみえる可能性があります
- ☐ 5%以下のグレー等、薄すぎる線・塗りはない（原稿のまま進めますが、印刷に出ない可能性があります）

【4】PDFデータチェック項目

- ☐ 作成サイズを原寸で正しく作成した
- ☐ フォントはすべて埋め込みした
- ☐ 塗り足しは足りている（※周囲が白の場合は塗り足し不要です）
- ☐ 文字原稿はノド側（とじ側）が詰まり過ぎていないか確認した

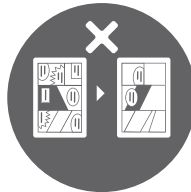
入金確認→データ確認後 中3日で発送します。

※土日は除く

ご入稿前の注意点



完全原稿でご入稿ください



入稿後は差し替えが
できません



スムーズにやりとりができる
ご連絡先をお知らせください

1. 完全原稿でご入稿ください

弊社の印刷商品は、お客様ご自身で原稿をお作りいただく「完全原稿でのご入稿」を前提としております。

「完全原稿」とは、原稿・データに問題がなく、弊社で手を加えることなく印刷が可能な状態の原稿を指します。

2. 入稿後は原稿の差し替えができません

事前にお手元にて十分に原稿をご確認のうえ、ご入稿いただきますようお願いいたします。

弊社での原稿のチェックは、印刷が可能か製造の進行上で妨げがないかの確認をおこなっており、絵柄・原稿内容・レイアウトなどの問題についてはご連絡ができません。

入稿前には念入りに確認をした上で、間違いの無い原稿をご入稿ください。

3. スムーズにやり取りができる方法・お電話番号やメールアドレスをお知らせください

繋がりがやすいご連絡先をご注文時備考欄へご記入ください。

長期にわたりご連絡が取れない場合、同意なしで印刷へ進めます。

納品までは弊社からの連絡にご注意ください。

その他キャンセル等につきましては弊社同人誌印刷サービスのサイトをご覧ください。